

うれしの掲示板

教材文化資料館平成26年度前期展 「第一回兵教大 自分展」

「自分(たち)を展示する」をテーマに、6個人・グループが研究や課外活動の取り組みなどを紹介。子どもが楽しめる実験装置の体験コーナーもあります。



開催期間／8月29日(金)まで

場所／教材文化資料館(附属図書館内)

開館時間／8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00

休館日／8月13日(水)～16日(土)

※臨時休館する場合があるので、附属図書館のホームページなどで確認してください

☎兵庫教育大学教材文化資料館 ☎0795・44・2362

公開講座の受講生を募集

日=開講日時 所=場所 対=対象 定=定員 料=受講料 縮=締め切り

アクアスポーツ&水あそび教室

サーフボードを使ったリレーや子ども用にルールを簡単にした水球など、さまざまなアクアスポーツと水あそびを楽しめます。

日 7月26日(土)13:00～15:00 所 加東キャンパス(プール) 対 小学4～6年生 ※25メートル以上泳げること 定 30人 料 無料(別途傷害保険料100円程度) 縮 7月4日(金)まで(先着)

絵画制作

着衣人物と静物の2点の絵画制作を通し、材料や技法についての知識を深め、表現や創作の楽しさを味わいます。

日 9月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)10:00～16:00(昼休憩1時間含む)〈全4回〉 所 加東キャンパス(芸術棟) 対 一般 定 20人 料 8,800円 縮 9月1日(日)まで(先着)

◎申し込み・問い合わせ

兵庫教育大学社会連携事務室

☎0795・44・2053 ☎0795・44・2320

✉office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

社会貢献活動に功績を挙げた 米田豊教授と加藤久恵准教授を表彰

兵庫教育大学の発展に多大なる貢献をしたとして、米田豊教授(写真右)と加藤久恵准教授(左)を表彰しました。

◎被表彰者

▶スクール・パートナーシップ事業を通じた社会貢献における多大な功績／米田豊教授(授業実践開発コース)、加藤久恵准教授(小学校教員養成特別コース)



↓子どもたちにタンポポの綿毛を説明する大西さん。
子どもの態度をチェックするのもアシスタントの仕事だ

「やろ、見たことないよなあ」と合いの手を入れる。「みんなの視線を大西さんに向けている時は声を掛けるようにしています」。さすが補助員歴3年目のベテランだ。

一方、初参加の学生は子どもたちの興味を引いたり、注意を促したりする言葉をなかなか発せられない。「輪から外れがちな子どもにも、どのタイミングで何と言え方がいいのか難しいですね」と中瀬美稀さん(学部1年)は苦笑いを浮かべる。

子どもが帰った後の振り返り

「振り返りの時間、学生たちは今回の反省点と次回に向けての課題を語り合った。大西さんは「将来の予定演習だと思って、子どもの様子を注意深く観察し、どんどん積極的に動いてください」と言葉を送った。

ボラステには連日、学生の力を借りたいという団体等から依頼が舞い込み、新たな募集チラシが張り出される。「誰かの役に立ちたい」「成長の機会にしたい」。学生は前向きな気持ちを抱いて掲示板に目を凝らす。



↑学生たちは活動を振り返り、口々に反省点を語り合った

兵教生のボランティア活動 in 県立やしろの森公園(加東市)

うれしの
交差点

兵庫教育大学と地域の交流ページ

↓田中さん(右)と福岡麻衣さん(学部2年)。相談員に活動できる時間帯やマイカーの有無などを伝えると、条件に合ったボランティアを探してくれる

↓自然観察が好きという矢田部恵美さん(学部1年)は興味津々でチラシを見る



多くの学生がボラステから ボランティアデビューを果たす

昨 年4月に加東キャンパスの学生会館3階にオープンした「ボランティアステーション(ボラステ)」は、ボランティア活動に関する情報の発信拠点だ。スクールサポーターや地域のイベントスタッフなど多彩な募集チラシが掲示板を埋め、相談コーナーには「自分でできる活動はないか」と、初めてのボランティアに意欲を見せる学生が頻繁にやってくる。

「長期にわたり子どもと関われる活動がいいのですが」と言う田中翔さん(学部2年)に、スタッフの赤松幸子さんが薦めたのは県立やしろの森公園(加東市)が主催する「里山体験教室ジュニア」のアシスタント。同教室は、小学4年生から6年生が1年を通して自然に親しむさまざまなプログラムを体験するというもの。「4月から来年3月まで毎月1回開かれます。公園の指導員の方が親切にアドバイスをしてくれるので、初めてのボ」

ランティアには最適だと思います」と赤松さん。

4月26日、今年度第1回の教室には兵教生11人が集まった。兵教生が参加するようにになって8年目。「こんなに来てくれたのは初めてですね」と同公園理事で指導員の大西泰則さんが目を丸くする。

さらに、今回初めて現職教員の大学院生の名前も愛媛県の小学校教員である川上梓さん(修士課程1年)は「学校現場を離れている間、勤が鈍らないよう子どもと触れ合う機会を持つとうと思いました」と理由を語る。

この日のプログラムは園内の主なスポットを巡る「やしろの森探険」。大西さんを先頭に、一行は田んぼへと向かう。「この魚のような体に手足が生えた生きものを知っているかな」と大西さんがサンショウウオの入った容器を子どもたちに見せると、すかさず馬越浩彰さん(専門職学位課程3年)が「何」



↑二木唯斗さん(修士課程1年)は仲良くなった子どもと七輪でシイタケを焼く

↑子どもたちとシイタケを採取する窪野早紀さん(学部4年)